

共通専門基礎科目	からだのしくみと医療					
看護学科	必修	1単位	講義	平成30年度	前期	1年次
臨床検査学科	必修					
科目名	生化学 Biochemistry					
担当教員	◎近藤明 山本慶和					
目的	生体を構成している個々の物質の性質を分子レベルで理解すると共に、それらが我々の体の中で、どのような役割を果たしているのかを理解する。					
目標	生体における構成成分の種類と特徴、及び代謝過程を学習することによって、その異常によって生じる疾病との関係が理解できるようにするための基礎とする。					
他科目との関連	体のしくみと疾病の成り立ち I～VI、生化学実習、臨床化学検査学総論、臨床化学検査学各論					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	期末試験				
	レポート					
	記録等					
	その他					
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	シンプル生化学 改訂第6版 (南江堂) (臨床検査学科)、ナーシンググラフィカ 臨床生化学 (看護学科)					
参考資料	クラス1 (臨床検査学科) とクラス2 (看護学科) に分かれて授業を行う。 テキストを必ず熟読すること。生化学ガイドブック (南江堂)、ヴォートの生化学 (東京化学同人)、集中講義 生化学 (MEDICAL VIEW)					
備考 (受講上注意、 事前学習等)						